



プレスリリース（即日発表用）

ピアレビューの多様性と その受け入れに関する世界的な議論を 促すためのピアレビュー・ウィーク (Peer Review Week)

順調に4年目を迎える今年も再び、出版者、学会及び大学機関を含めた組織は、協力体制の下にピアレビュー（査読）を強化し、その発展を祝福するための活動やイベントに取り組んでいます。2018年のピアレビュー・ウィーク（Peer Review Week）は「多様性とその受け入れ（Diversity and Inclusion）」をテーマに、ピアレビューの中でこのトピックに関わる多岐にわたる問題や課題を探ることを目指しています。2018年9月10日から15日にかけて、世界各地で様々な活動が行われます。

このテーマに沿って、ピアレビューに関わる人々の多様性を祝福すると共に、世界のあらゆる地域における幅広い活動への多彩なグループからの参加を呼び掛けています。

これに関連してイベントを開きたい方々に向けて、その活動を奨励し支援するために、「お手軽イベントセット（Event in a Box）」オプションを準備しています。以下のような活動を行うために必要な支援が提供されています。

- ワークショップの運営
- ウェブナーの開催
- 講演やセミナーの提供
- ブログの執筆と投稿

「Event in a Box」に関する詳しい情報は、間もなくウェブサイト上に掲載される予定です。

ピアレビュー・ウィーク開催中には、ピアレビューにおける多様性とその受け入れとはどのようなものであるのか、どうしてそれが重要なのか、そしてどのようにしてそれを支持するのかについての率直な議論をされることを奨励します。我々が関心を高めたいと願っている領域は、ピアレビューへの若手研究者の受け入れや執筆者における性差などの職業特異的なトピックに加えて、性差別、取り上げられることの少ない少数民族と国によるバイアスを取り巻く明示的また暗示的な問題が含まれます。この様なトピックや他の問題に対して多様な意見を包括する議論の創出を支援するために、できるだけ多くの国々や異なる背景を有する人々の活動を奨励したいと考えています。

エジプトのブリティッシュ大学に所属するリサーチコーディネイターであり、昨年のセミナーを組織した Rania Rafik Khalil 博士は次のように語っています。「芸術人文学部のリサーチコーディネイターとして、私は率先してピアレビュー・ウィークのアイデアを広げ、大学の図書館と協力してセミナーを開催しました。このイベントは成功を収め、ピアレビューの価値に関して国際的なレベルで学識経験者における関心を高め、大学職員と大学の双方の評価に多くの恩恵をもたらしました。」

昨年は以下の様な多くの国際的なイベントが実施されました。

- ワークショップ：ピアレビュー（Peer Review）：基本的な仕組み（Nuts & Bolts）（テヘラン大学、イラン）
- ウェブナーReviewerCredits とは何か、そしてそれはどのようにしてピアレビューの透明性に貢献するのか（What is ReviewerCredits and how can it contribute to transparency in peer review）（ミラノ・ビッコカ大学、イタリア）
- ワークショップ：有能なレビューアになるには（How to be an effective reviewer）：Taylor and Francis 出版社の学術誌のピアレビュー（Peer reviewing for academic journals with Taylor and Francis）（クイーンズランド大学、オーストラリア）
- 講義：ピアレビューを重視すべき理由と必要性とは（Why would and should I care about peer review?）（カロリンスカ研究所、スウェーデン）

参加方法

この取り組みへの参加を希望される方は、件名を **Peer Review Week** とされたうえで、あなたができることやアイデアをメールで、peerreviewweek@outlook.com までお送りください。「Event in a Box」ツールキットを希望される方は、その旨も明記くださいますようお願いいたします。

更に詳しい情報や、今年度の **Peer Review Week** の活動への参加に関しましては、www.peerreviewweek.org、[#PeerReviewWeek18](https://twitter.com/PeerReviewWeek18) と [#PeerRevDiversityInclusion](https://twitter.com/PeerRevDiversityInclusion) をご参考ください。

2018 年 PRW 運営委員会

Abigail Jones, Sense About Science
Alice Ellingham, Editorial Office Ltd
Alice Meadows, ORCID
Alison O'Connell, Coko Foundation
Annette Flanagan, JAMA
Bahar Mehmani, Elsevier
Carianne Buurmeijer, FEMS
Caroline Campbell, IGI Global
Eileen Breen, Emerald Publishing
Domiziana Francescon, Elsevier
Elisa De Raneri, Springer Nature
Helen Evans, Emerald Publishing
Jason De Boer, Aries Systems
Jenny Gimpel, BMC
Jessica Rucker, ACS Publications

Kathy Pierce, Elsevier
Katie Baker, SAGE Publishing
Kristen Marchetti, SAGE Publishing
Lindsay Wertman, IGI Global
Mark Robinson, T&F
Meghan McDevitt, ISMTE
Lou Peck, Wiley
Nikesh Gosalia, Editage
Phil Hurst, Royal Society
Raina Khalil, The British University in Egypt
Shane Canning, F1000
Stephanie Monasky, ACS Publications
Susie Winter, Springer Nature
Tom Culley, Publons
Verity Warne, INASP

更に詳しい情報につきましては、以下までご連絡ください。

Alice Ellingham, Director, Editorial Office Ltd
直通電話：+44 (0) 845 834 0370
Email : alice.ellingham@editorialoffice.co.uk